

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後クラブすっぱぁ			
○保護者評価実施期間	2024年12月10日 ～ 2024年12月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	2024年12月10日 ～ 2025年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が活動内容（外活動）に満足し、楽しく通所してくれている。	月ごとのスケジュールを作成し、様々な活動内容を取り入れている。	コロナ禍を経て中止してしまった活動を含め、新しい活動をどのように取り入れていくのかを検討する。
2	保護者との意思疎通がとれている。	送迎時に直接保護者の方とお話しし、その日の報告をしている。相談などがあれば職員間で共有をし、すばやい対応を心がけている。	様々な職員が在籍していることを周知してもらい、よりお話ししやすい環境を作る。
3	様々な職員からの意見を取り入れている。	活動内容や支援方法を様々な職員から意見をもらっている。グループラインを活用し、共有しやすい体制を取っている。	朝礼や支援終了後などのちょっとした時間もうまく活用し、職員間の意思疎通を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との連携が少ない。	支援学校や相談支援事業所などは連携がとれているが、外部評価を行っていないことや相談支援事業所以外の専門機関とは連携がない。	利用者の現状を日々把握し、必要に応じて専門機関にも相談を行う。
2	保護者同士の交流の場がない。	通所している利用者の保護者が集まれる日時の調整が難しい。	日時を気にせず、参加のしやすいイベント等を検討していく。
3			